



スマート保育園® 通信

1 月号

特集

写真の活用と子どもと保育者の主体性??

社会福祉法人呉竹会 三茶こだま保育園インタビュー

コラム

保育者からの贈り物 vol.5

お役立ち情報

楽するためのショートカット編②

特集

写真の活用と子どもと保育者の主体性??

社会福祉法人呉竹会
三茶こだま保育園
インタビュー

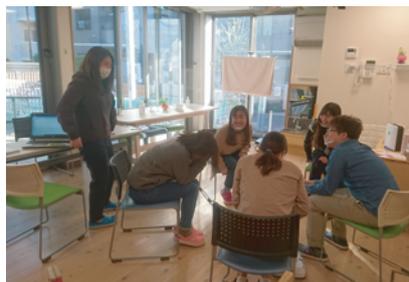


「じりつ(自立・自律)」
と「協力」を保育方針とされている
社会福祉法人呉竹会・三茶こだま
保育園の石田園長
にお話を伺いました。

当園は2018年創設の新しい園のため、まず職員の共通の話題となる「子どものこと」を、保育者としての経験のありなしに関係なく、同じような視点で話し合いたいという想いが、強くあったのだと思います。子どもの姿や、子どもに関わることを語り合い、共有することは、一番盛り上がり、その中で自然と子どもの発達や成長に気付くことも多く、保育の質の向上に効果的なように感じています。日常的な語り合いに加えて、当園では意識的に、月2回ある会議のうち1回は、会議の序盤に、写真を見せながら、子どもの中で流行っていることや子ども同士が関りあう様

子などを、クラスの保育者や看護師、栄養士たちが、それぞれの目線から選んで共有する時間を設けています。発表者が、保育中に撮った写真を見せながら、会議の参加者全体に説明します。すると、参加している保育者から「これってこうだったよね〜」「こんなことも出来るようになったんだね」というコメントがあったりして、1枚の写真から驚くほど話が広がることもあるんですよ。

さらに、この「写真を活用したコミュニケーション」は、保育者と保護者の交流にも効果を発揮します。シフトの関係で、担任ではない先生がボタンタッチして保護者対応をすることがあります。日常的な会話に加え会議でも、保育者間で写真を活用した語り合いがあるため、自身が担任していない子どもの状況もわかる部分も多く、広報誌やブログ配信などの写真について「〇〇ちゃんはお友



一円対話(話し合いの様子)

——三茶こだま保育園では、保育中でも、保育者が子どもの様子をたくさん語り合っている姿が印象的です。なぜこんなにも活発に語り合うことができているのか、教えてください。

だちとのやり取りが上手になりましたね」などと保護者との会話のきっかけにもなります。

——モデル園の写真活用研修の受講を通して、貴園での変化はありましたか？

私からドキュメンテーションを作るよう指示やお願いをしていないのに、保育者が「12月の発表会の企画制作に関する子どもの姿」を題材に、ドキュメンテーションを作成してくれました。「どうして作ってくれたの？」と訊くと、「大豆生田先生の話聞いて、ドキュメンテーションを作りたいとずっと思っていたので」と保育者が楽しそうに語ってくれました。行事での取り組みを、当日は保護者の方に直接見ていただくことができますが、当日までの準備プロセスの中にも、保育の伝えたい部分が多くあります。ですから、様々な職員の目線から見た子どもの姿を、写真や動画を使ってわかりやすく伝えられると良いと思っています。

たとえば今回の発表会で、1つ1つの演目が、どうしてその演目になったかなども、意識的に伝えなければ保護者に伝わることはありません。そこで、「子どもの準備の様子・発達の様子分かる写真・動画・ドキュメンテーションを、演目の前に、保護者に紹介してから、子どもたちの発表を見ていただく」という取り組みをしたところ、非常に好評でした。

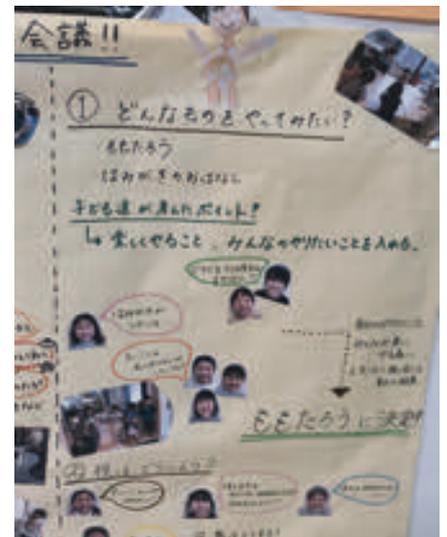


(発表会)ピーステーブルで魔女との話し合い

——貴園の素敵な写真は、どのタイミングを撮影するなど、決まりごとはありますか？

何気ない日常の写真を撮影しています。先生たちが、写真を撮ることに

≫ 次のページへ



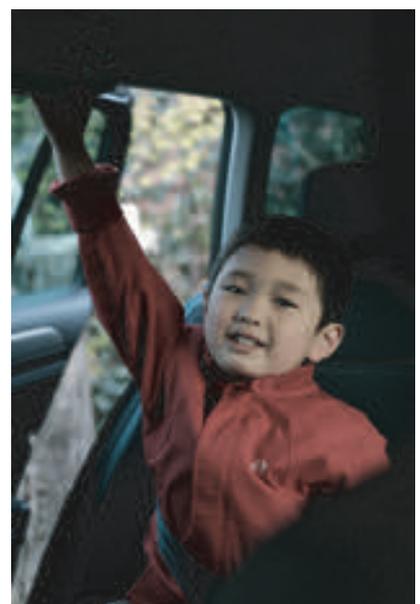
実際のドキュメンテーション

保育者からの贈り物 Vol.5

息子は内向的な性格で、保育園に通い始めた最初の頃はとても大変でした。どうかして車に乗せて園に向かうものの、駐車場に到着する頃には号泣し、チャイルドシートにしがみついて登園拒否を主張する日々。しかし保育園で過ごす時間が積み重なっていくごとに息子の表情は明るくなっていきました。

その変わりようが気になって、先生たちが普段どんなふうに関わり接してくれているのか注意深く見ていると、ある日こんなことがありました。息子の学年ではない先生から名前を呼ばれたのです。それも特定の先生ではなくたくさんの先生が息子のことを認識してくれていました。これは先生たちが園児一人一人に対して関心を抱いてくれている、保育園全体で子供たちを見守ってくれている証であって、その安心感に包まれて息子はのびやかに成長していているということに気がきました。

子供にとって良い影響を与えることは、そのままイコールで大人たちにとっては大変なことだと思います。親でさえ簡単ではないことを、全ての園児たちに積極的に与えてくれている先生たちの姿勢に大変な感謝と尊敬の念を抱いています。おかげで今では笑顔で車を降りて保育園に向かって一目散に駆けていくようになりました。



慣れてきて、「次はこうなるかも！」という子どもの姿の予測がなんとなくあるようです。これは、保育者が、子どもの性格や発達を分かっていると、次の行動への予測ができて、写真や動画を撮るタイミングも見えてくるのかと思います。「記念写真」はあまりなく、子どもの成長や、保育を伝えるという「記録写真」を、意識的にたくさん撮っています。



クッキングの様子

——日々の保育運営の中で、園長先生のマネジメント上の工夫を、是非教えてください！

保育者同士が職員室で保育の話をしていると、私にも聞こえてきます。

その中で、保育者が悩んでいて、助けになればいいなと思うところがあると、私も会話に入りアドバイスをしています。どうしても保育者のなかには、得意な部分・不得意な部分があります。そこで、各保育者の得意な部分を、どんな場面で活かしてあげようかを考えています。行事や保育の場面以外でも活躍できる場が、どの職員にもあるといいな、と考えています。

また、話し合い、語り合いの際に、誰にでも分かるように、あまり難しい言葉や言い回しは使わないように注意して楽しく語り合えるようにしています。

——最後に、ICT(キッズリーとルクミー午睡チェック)の導入を検討中の全国の園へ、導入アドバイスをお願いします。

キッズリー導入時は、難しいかも?と思いましたが、若い保育者がまず先に、スムーズに使いこなしていき、教

え合いながら、全体が利用に慣れていきました。そして、使っていくうちに「こういう機能ないかな」と思っていたら、実はあったということもありましたね。

ルクミー午睡チェックは0歳クラスで使用していますが、使い方はユニファの方にも指導いただき、職員同士でも教え合いながら進めて、何の問題もなく使っています。

保育者全員の利用・全ての機能を…というのは最初からは難しいので、何事も一歩一歩ですね！

「見守る保育」を実践されている三茶こだま保育園。保育者が主体的で、お子さまも主体的。お子さま同士でも語り合って、両者納得!ということも日常的にあるそうです。

ますます保育の素晴らしさとお子さまの可能性を学ばせていただくルクミーでした。

お役立ち情報

～ 楽するためのショートカット編 ② ～

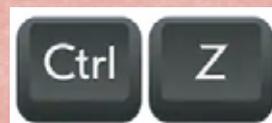
Q. 直前になにかを消してしまったけど、どう戻したらよいですか？

パソコン上の園児の写真をどこかのフォルダにいれてしまい、一瞬で見当たらなくなった!!
保護者への「お知らせ」の文章に悩んだ結果、前の文章に戻りたい!!
そんな時、どうしたらいいですか？

A. 一瞬で元に戻す方法があります: 「Ctrl」と「Z」を同時に押してみてください。

覚え方は、過去に戻る「最後」の手段は「Z」(アルファベットの最後)
ルクミースタッフもこんなことよくあります。焦りますよね…。
そんなときは、前月号同様に、キーボードの謎のボタン「Ctrl」の出番です。
<「Ctrl」を押しながら「Z」>をクリックしてください。

わずか1秒もかからず、元に戻してくれます。2回実施すれば2回前に戻れます。
これが過去をやり直す方法です。(過去に戻れるのはパソコン上だけです、ご注意ください)



今月も謎のボタン「Ctrl」君の使い道が分かりましたね!

※ 元に戻した作業を取り消したい時は「Ctrl」+「Y」を同時にクリック

※ Macをご利用の方は、元に戻す「Command」+「Z」 操作取り消しは「shift」+「command」+「Z」



全国の数百園のご応募の中から、スマート保育園®のモデル園11園が選出されました。

当園は、スマート保育園®のモデル園です。

1.

複雑な保育の現場業務を、見える化し、その中にひそむ課題を洗い出します。

2.

ルクミーの全5サービス*を全て導入して、園業務を効率化し、保育者がお子さまに向き合う時間を増やします。



3.

保育者へのオンライン研修や保育者ケアなど、保育の質向上への支援を受けます。



スマート保育園®って?

テクノロジーの支援で保育者の「心」と「時間」にゆとりが生まれ、子どもと向き合うことに集中できる保育園です。

お子さまと「もっと向き合いたい」という、保育者の想いを支えます。

スマート保育園になると、子どもにとってはどう良くなるの?

紹介動画をご覧ください



※お使いのカメラアプリで、QRコードを読み取れます。



ルクミーが見た 保育者のお仕事

コロナ禍において、保育者はこれまで以上に、お子さまの健康状態や衛生環境に注意しています。

検温の回数も2回、3回と増え、教室や子どもが利用する遊具などの消毒作業も実施しています。

そこでモデル園では、保育者がお子さまを温かく見守る時間を少しでも確保すべく、非接触のルクミー 体温計をご活用いただいています。検温結果は、データとして専用アプリでiPadへ転送されます。そしてお子さまの平熱から前後1度の変化がある場合は、アプリ上で保育者に気付いていただけるしくみです。

ルクミーは、保育者の「もっとお子さまを見守りたい」お子さまの「もっと見てほしい」という想いをサポートしていきます。



Creating new infrastructure for society that brings happiness to families around the world

家族の幸せを生み出す
あたらしい社会インフラを
世界中で創り出す

